

表紙, 目次, 奥付等

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 掛川市健康福祉部保健予防課, 掛川市吉岡彌生記念館, 東京女子医科大学看護学部 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00031844

掛川市健康調査報告書

平成 28 年度

平成 29 年 3 月

掛川市健康福祉部保健予防課

掛川市吉岡彌生記念館

東京女子医科大学看護学部

ごあいさつ

掛川市吉岡彌生記念館
館長 高山幹子

平成 28 年度の MONAC の調査報告は、「中堅看護師が実践で重視する患者への配慮や気遣い—急性期内科系病棟看護師の実践—」と「乳幼児を養育する母親に対する健康保持増進への支援」の 2 題の調査が行われ報告の運びとなりました。

中堅看護師が実践で重視する患者への配慮や気遣いについては、中東遠総合医療センター急性期内科系病棟に勤務する経験豊富な看護師に面接調査を実施し分析したものです。重症入院患者への看護師によるストレス緩和対策でマニュアル化されていない技術が報告されています。

乳幼児を養育する母親に対する健康保持増進への支援については、核家族化された家庭において母親の育児への支援は必要で、子どもの病気やけがの対処法と母親自身の健康を保持増進するためのセミナーを実施し、運動不足やストレス発散法として軽くタッチするだけで身体的効果が出る方法を行い、ほとんどの参加者が何らかの効果を感じていたことが報告されています。

これらの調査を行い MONAC を支え続けて下さるのは東京女子医科大学看護学部の先生方ですが、東京女子医科大学内の吉岡彌生記念室では、特別展示「東京女子医科大学 看護教育 86 年の歩み」が行われました（平成 28 年 12 月 1 日～平成 29 年 3 月 8 日）。

昭和 5 年、東京女子医学専門学校附属産婆看護婦養成所が認可され、東京女子医科大学での看護系の学校教育が開始しました。同年末には念願の 1 号館が竣工し、平成 28 年に取壊されるまで看護教育とともに 86 年の歳月を刻みました。彌生先生は『女医界』に「女医の進出と共に看護婦も衛生に貢献し国民保健の実をあげることが責務である」と記され、また、「看護婦は家庭衛生の相談相手ともなり、病人を看護するのみでなく人のため社会のために尽くす」とも述べておられます。その後の制度改編で名称・教育内容も変遷がありましたが、現在は東京女子医科大学の看護学部と看護専門学校とが存在しています。

彌生先生のふるさと掛川市に看護学部が建設され、同時に現在の掛川市吉岡彌生記念館が立ち上げられると MONAC を核とし掛川市の市民の皆様の健康に貢献してきました。これを機に東京女子医科大学の看護教育の歴史も知っていただければ幸いです。

はしがき

東京女子医科大学看護学部
MONAC 企画委員会
平成 28 年度委員長 守屋治代

今年度の調査が滞りなく終了しましたことをご報告致します。

今年度の調査にあたり、掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター様、特に看護部の皆様、掛川市保健予防課の皆様に多大なるご理解とご高配をいただきました。また、研究協力者の募集にあたりましては、急遽、掛川市子ども希望部部長様にもご支援を賜りました。この場を借りて、御礼申し上げます。

今年度は、以下の 2 題が報告されました。

1. 乳幼児を養育する母親に対する健康保持増進への支援
2. 中堅看護師が実践で重視する患者への配慮や気遣い
—急性期内科系病棟看護師の実践—

1 題目は、昨年度の調査により、幼児の保護者世代を地域で支えていく重要性が明らかになったことから、今年度は、子どもが病気やけがをした際の対処方法の講習やリラクゼーション法を実際に実施したものです。リラクゼーション法の実施後には、お母さん方からリラックスしている様子が伺われ、日頃のお母さん方の緊張が解けたものと受け取れます。掛川市の未来を担う子どもたちとその保護者世代が、悩みを相談したりリラックスしたりできるような場づくりが喫緊の課題であることを、改めて確認いたしました。

2 題目は、病院のなかで看護師が入院患者さんに対して、日常的にどのような気遣いや配慮を行っているのかを、「見える化」した貴重な調査です。急性期の地域医療を担う基幹病院の看護の質は、医師と並んで、地域医療の質を担保する重要な要因の一つであるといえます。看護師は、単に医師の治療や処置の介助をしているのではなく、看護独自の視点に立って、如何に患者さんの生命や生活の質を高めようと日々苦心しているのかが、手に取るようにわかりました。掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センターの看護部の皆様のご尽力に感謝いたします。

以上、本調査結果が、掛川市の保健医療政策に少しでも貢献できれば幸いです。今後とも関係者の皆様のご理解・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

研究者名簿 (50 音順)

稲野辺奈緒子	(東京女子医科大学八千代医療センター)
見城 道子	(東京女子医科大学看護学部)
櫻田 章子	(東京女子医科大学看護学部)
三浦 美奈子	(東京女子医科大学看護学部)

調査協力者

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター
掛川市こども希望部
掛川市健康福祉部 保健予防課・母子保健係 一同

事務局

掛川市吉岡彌生記念館

—目次—

吉岡彌生記念館館長あいさつ

はしがき

研究者名簿

報告

I. 乳幼児を養育する母親に対する健康保持増進への支援

三浦美奈子, 櫻田章子…………… 1

II. 中堅看護師が実践で重視する患者への配慮や気遣い

—急性期内科系病棟看護師の実践—

見城道子, 稲野辺奈緒子…………… 10

資料 (調査用紙)

掛川市健康調査報告書（平成 28 年度）

発行責任者 守屋 治代
発行 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学看護学部

MONAC 企画委員会

守屋 治代 異儀田はづき

加藤 京里 竹内 道子

抜田 博子

Tel 03-3357-4804（代）